



致遠館高校の生徒が理工学部化学分野の学生実験体験と 総合分析実験センターを見学

【概要】

致遠館高校の化学、薬学に興味のある生徒らが SSH（スーパーサイエンスハイスクール）活動の一環として、2023年5月24日（水）に佐賀大学を訪問し、理工学部化学分野の学生実験体験と総合分析実験センターの見学を行いました。

【本文】

2023年5月24日（水）に佐賀県立致遠館高等学校の化学、薬学に興味のある生徒らが、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）活動における Specialized Laboratory Visit というプログラムのもと佐賀大学を訪問し、理工学部化学分野の学生実験体験と総合分析実験センターの施設見学を行いました。

当日は、致遠館高等学校から山下 知子 教諭、遠藤 慶明 教諭と生徒 20 名が本校を訪問し、まず理工学部にて化学分野の学生実験を体験しました。その後、総合分析実験センターにて、ガスクロマトグラフ、蛍光 X 線分析装置、核磁気共鳴装置、走査型電子顕微鏡の見学を行いました。これらの見学では、センターの新地 姉理華 技術専門職員、龍田 典子 技術専門職員、真瀬田 幹生 技術員、吉田 貴子 技術員による測定演示が行われました。生徒たちからは、最先端の分析機器についての素朴な疑問など質問が積極的にあり、関心度の高さが窺えました。

理工学部では長年、致遠館高等学校の SSH 事業をサポートしており、今後も大学職員一同、SSH 活動の益々の発展を祈念しています。



総合実験分析センター見学の様子